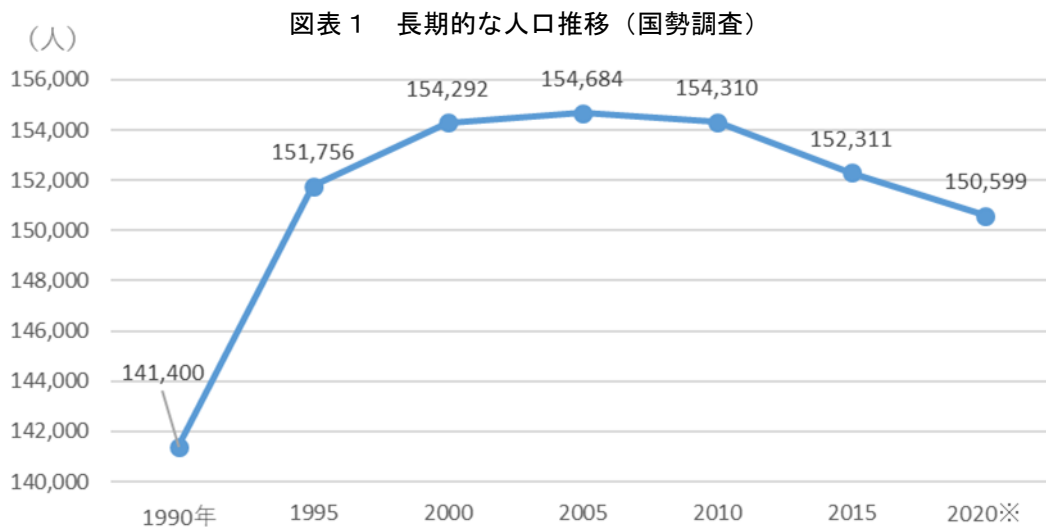


《 人口推計報告 》

1. 人口の推移

(1) 長期的な人口推移（国勢調査）

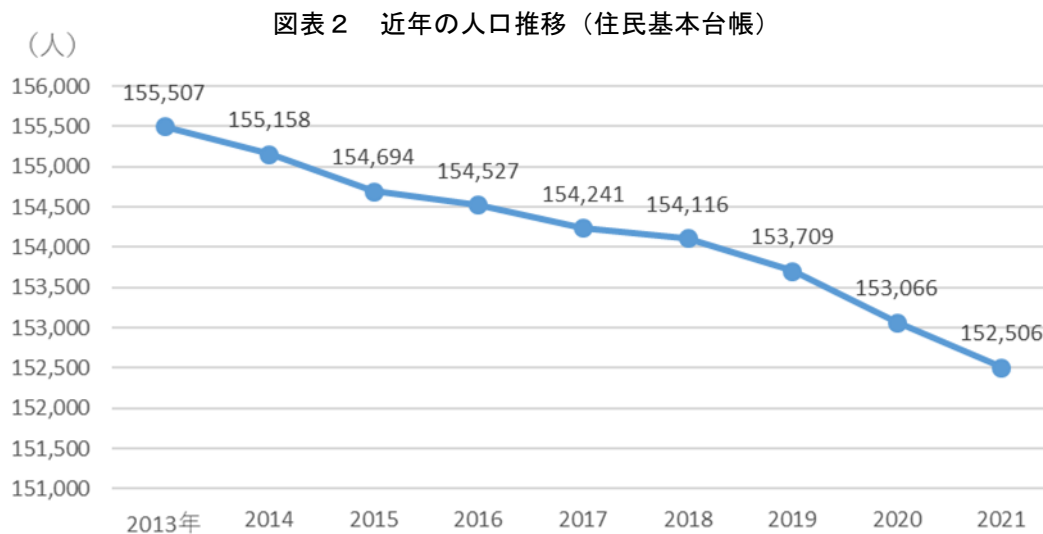
- 国勢調査から長期的な総人口の推移をみると、2005年の154,684人をピークとして、緩やかな減少傾向に転じていることがわかります。
- 2020年※（速報値）は150,599人であり、対2015年比で1,712人減、対2005年比では4,085人減となっています。



出典：総務省「国勢調査」

(2) 近年の人口推移（住民基本台帳）

- 住民基本台帳から近年の総人口の推移をみると、2021年は152,506人であり、緩やかな減少傾向が続いていることがわかります。



出典：総務省・久喜市「住民基本台帳人口」（各年1月1日）

(3) これまでの人口推計結果

- 久喜市総合振興計画 後期基本計画（現行計画。2018年3月策定）では、2022年人口を住民基本台帳人口ベースで150,900人と推計しています。久喜市の2021年1月1日時点の住民基本台帳人口は152,506人ですから、2022年時点では推計<実績となる可能性があります。
- 久喜市人口ビジョン（2016年3月策定）では、2020年人口を国勢調査人口ベースで149,728人と推計しています。久喜市の2020年国勢調査人口（速報値）は150,599人ですから、推計<実績で推移しています。
- 国立社会保障・人口問題研究所（社人研）による『日本の地域別将来推計人口（平成25（2013）年推計）』では、2020年人口を国勢調査人口ベースで148,405人と推計しています。久喜市の2020年国勢調査人口（速報値）は150,599人ですから、推計<実績で推移しています。

図表3 これまでの人口推計結果

	久喜市総合振興計画 （後期基本計画）	久喜市人口ビジョン	
		<目指すべき人口>	<社人研推計>
策定等	2018年3月	2016年3月	2016年3月
実施主体	久喜市	久喜市	国立社会保障・人口問題研究所（社人研）
基準人口	2012年住民基本台帳人口 （156,315人）	2010年国勢調査人口 （154,310人）	2010年国勢調査人口 （154,310人）
将来人口	2022年150,900人	2020年149,728人 2040年130,841人 2060年110,359人	2020年148,405人 2040年121,385人 2060年89,515人
推計手法	コーホート要因法	コーホート要因法	コーホート要因法
参考：2020年・2021年人口実績	2020年1月1日153,066人 2021年1月1日152,506人 2022年時点では推計<実績となる可能性	2020年10月1日国調人口150,599人（速報値） 2020年時点で推計<実績で推移	2020年10月1日国調人口150,599人（速報値） 2020年時点で推計<実績で推移

- 以上から、久喜市の総人口は、2020年時点では『既往推計ほどには減らず維持された』『既往推計より緩やかな減少傾向を示した』と捉えることができます。

(4) 人口推計結果に対する要因の考察

- 要因を考察するため、社人研『日本の地域別将来推計人口』（平成 30（2018）年推計_久喜市に示された仮定値を用い、「ベース推計（基準人口＝2020.1.1 住基人口）」及び「【参考】ベース推計（基準人口＝2015.1.1 住基人口）」を実施しました。
- 両推計の相違点は、基準人口の時点のみです。仮定値は、全て社人研『日本の地域別将来推計人口』（平成 30（2018）年推計_久喜市に拠っています。

図表 4-1 ベース推計等の推計条件

<p>ベース推計 (基準人口＝ 2020.1.1 住基人口)</p>	<p>◎基準人口：総務省「<u>2020</u>年住民基本台帳年齢階級別人口（市区町村別）」</p> <p>①生残率：社人研『日本の地域別将来推計人口』（平成 30（2018）年推計_久喜市</p> <p>②純移動率：同上</p> <p>③合計特殊出生率：同上による「子ども女性比」を合計特殊出生率に換算</p> <p>④0～4 歳性比： 社人研『日本の地域別将来推計人口』（平成 30（2018）年推計_久喜市</p> <p>◎推計期間：2070 年まで 5 年刻み、50 年間</p>
<p>【参考】ベース推計 (基準人口＝ 2015.1.1 住基人口)</p>	<p>◎基準人口：総務省「<u>2015</u>年住民基本台帳年齢階級別人口（市区町村別）」</p> <p>①生残率：社人研『日本の地域別将来推計人口』（平成 30（2018）年推計_久喜市</p> <p>②純移動率：同上</p> <p>③合計特殊出生率：同上による「子ども女性比」を合計特殊出生率に換算</p> <p>④0～4 歳性比： 社人研『日本の地域別将来推計人口』（平成 30（2018）年推計_久喜市</p> <p>◎推計期間：2065 年まで 5 年刻み、50 年間</p>

- 推計結果は、次ページのとおりです。ベース推計（基準人口＝2020.1.1 住基人口）では、久喜市の総人口は 2030 年に 142,921 人、2060 年に 100,479 人となります。
- 【参考】ベース推計（基準人口＝2015.1.1 住基人口）では、久喜市の総人口は 2030 年には 141,908 人、2060 年には 99,695 人となります。ベース推計との間に、1,000 人程度の乖離があることがわかります。

図表 4-2 ベース推計（基準人口=2020.1.1住基人口）結果

単位：人

総計	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	2065年	2070年
	実績値	推計値									
0～4歳	4,969	4,581	4,301	4,012	3,693	3,398	3,147	2,945	2,737	2,523	2,351
5～9歳	5,778	5,211	4,827	4,555	4,267	3,943	3,627	3,360	3,144	2,921	2,694
10～14歳	6,282	5,912	5,339	4,955	4,684	4,394	4,060	3,735	3,460	3,237	3,008
15～19歳	6,690	6,350	5,984	5,409	5,023	4,750	4,456	4,118	3,788	3,509	3,283
20～24歳	7,107	6,364	6,045	5,701	5,158	4,794	4,533	4,253	3,930	3,615	3,349
25～29歳	7,156	6,357	5,710	5,449	5,159	4,681	4,350	4,114	3,859	3,566	3,281
30～34歳	7,848	7,034	6,262	5,645	5,413	5,147	4,670	4,340	4,104	3,851	3,558
35～39歳	8,908	7,968	7,178	6,398	5,780	5,561	5,288	4,798	4,458	4,216	3,956
40～44歳	10,588	9,141	8,208	7,413	6,608	5,979	5,752	5,470	4,963	4,612	4,361
45～49歳	12,064	10,636	9,226	8,311	7,533	6,712	6,076	5,846	5,558	5,045	4,688
50～54歳	10,091	12,008	10,591	9,218	8,321	7,561	6,741	6,100	5,868	5,580	5,064
55～59歳	9,464	10,006	11,912	10,510	9,166	8,289	7,532	6,717	6,077	5,847	5,560
60～64歳	10,067	9,266	9,832	11,713	10,341	9,036	8,171	7,425	6,622	5,991	5,763
65～69歳	12,262	9,708	8,970	9,549	11,386	10,064	8,795	7,953	7,226	6,446	5,831
70～74歳	12,594	11,571	9,201	8,533	9,107	10,871	9,606	8,397	7,593	6,899	6,160
75～79歳	9,717	11,482	10,579	8,475	7,908	8,478	10,117	8,937	7,815	7,066	6,419
80～84歳	6,096	8,122	9,724	8,999	7,293	6,879	7,364	8,785	7,755	6,786	6,134
85～89歳	3,434	4,316	5,802	7,082	6,597	5,460	5,147	5,490	6,543	5,769	5,055
90歳～	1,951	2,544	3,231	4,280	5,544	5,769	5,343	4,993	4,978	5,456	5,313
総数	153,066	148,575	142,921	136,207	128,982	121,766	114,778	107,775	100,479	92,935	85,828

基準人口の出典：総務省「令和2年住民基本台帳年齢階級別人口（市区町村別）」

図表 4-3 【参考】ベース推計（基準人口=2015.1.1住基人口）結果

単位：人

総計	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	2065年
	実績値	推計値									
0～4歳	5,496	5,093	4,558	4,250	3,972	3,649	3,350	3,133	2,932	2,714	2,515
5～9歳	6,155	5,735	5,341	4,803	4,501	4,225	3,895	3,576	3,344	3,131	2,897
10～14歳	6,587	6,273	5,867	5,473	4,930	4,628	4,351	4,011	3,682	3,444	3,224
15～19歳	7,037	6,661	6,340	5,941	5,544	4,998	4,694	4,413	4,068	3,735	3,493
20～24歳	7,845	6,685	6,337	6,036	5,661	5,287	4,770	4,480	4,211	3,883	3,564
25～29歳	8,009	6,991	5,979	5,685	5,442	5,120	4,798	4,328	4,065	3,822	3,523
30～34歳	8,806	7,794	6,871	5,890	5,621	5,405	5,109	4,787	4,319	4,056	3,813
35～39歳	10,446	8,874	7,913	7,013	6,017	5,755	5,553	5,248	4,918	4,436	4,166
40～44歳	12,080	10,668	9,107	8,151	7,242	6,215	5,953	5,744	5,429	5,087	4,589
45～49歳	10,129	12,116	10,717	9,190	8,253	7,358	6,313	6,051	5,837	5,518	5,171
50～54歳	9,547	10,102	12,057	10,672	9,183	8,264	7,386	6,340	6,074	5,860	5,539
55～59歳	10,252	9,430	10,017	11,960	10,590	9,131	8,233	7,359	6,318	6,051	5,839
60～64歳	12,644	9,990	9,232	9,843	11,760	10,420	9,001	8,116	7,254	6,228	5,965
65～69歳	13,204	12,152	9,633	8,937	9,561	11,432	10,141	8,761	7,899	7,061	6,063
70～74歳	10,576	12,430	11,466	9,131	8,502	9,120	10,911	9,681	8,365	7,542	6,743
75～79歳	7,169	9,577	11,332	10,483	8,409	7,879	8,494	10,150	9,007	7,786	7,021
80～84歳	4,683	5,948	8,007	9,597	8,916	7,237	6,854	7,383	8,808	7,818	6,762
85～89歳	2,639	3,285	4,208	5,723	6,990	6,535	5,417	5,128	5,512	6,551	5,817
90歳～	1,390	1,881	2,441	3,130	4,196	5,457	5,697	5,288	4,957	4,974	5,455
総数	154,694	151,686	147,426	141,908	135,290	128,116	120,922	113,976	107,000	99,695	92,159

基準人口の出典：総務省「平成27年住民基本台帳年齢階級別人口（市区町村別）」

- ベース推計（基準人口＝2020.1.1住基人口）結果と、【参考】ベース推計（基準人口＝2015.1.1住基人口）結果を年齢5歳階級別に詳しく比較します。

図表4-4 ベース推計結果と【参考】ベース推計結果の比較（▲はマイナス、網掛けは2%以上の乖離）

単位：%

総計	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	2065年
	実績値	推計値								
0～4歳	▲ 2.44	0.50	1.19	0.99	1.21	1.44	0.46	0.42	0.85	0.32
5～9歳	0.74	▲ 2.44	0.50	1.19	0.99	1.21	1.44	0.46	0.42	0.85
10～14歳	0.14	0.76	▲ 2.44	0.50	1.19	0.99	1.21	1.44	0.46	0.42
15～19歳	0.43	0.15	0.73	▲ 2.44	0.50	1.19	0.99	1.21	1.44	0.46
20～24歳	6.32	0.43	0.16	0.72	▲ 2.44	0.50	1.19	0.99	1.21	1.44
25～29歳	2.36	6.32	0.44	0.14	0.75	▲ 2.44	0.50	1.19	0.99	1.21
30～34歳	0.69	2.37	6.32	0.43	0.14	0.74	▲ 2.44	0.50	1.19	0.99
35～39歳	0.38	0.69	2.36	6.32	0.44	0.13	0.76	▲ 2.44	0.50	1.19
40～44歳	▲ 0.75	0.38	0.69	2.36	6.32	0.44	0.13	0.76	▲ 2.44	0.50
45～49歳	▲ 0.43	▲ 0.75	0.39	0.70	2.39	6.32	0.43	0.16	0.72	▲ 2.44
50～54歳	▲ 0.11	▲ 0.41	▲ 0.75	0.38	0.69	2.37	6.32	0.43	0.14	0.75
55～59歳	0.36	▲ 0.11	▲ 0.40	▲ 0.76	0.38	0.69	2.35	6.32	0.44	0.13
60～64歳	0.77	0.36	▲ 0.11	▲ 0.40	▲ 0.76	0.38	0.69	2.35	6.32	0.44
65～69歳	0.90	0.77	0.36	▲ 0.12	▲ 0.40	▲ 0.76	0.38	0.69	2.35	6.32
70～74歳	1.32	0.91	0.77	0.37	▲ 0.15	▲ 0.37	▲ 0.77	0.38	0.67	2.31
75～79歳	1.46	1.32	0.92	0.78	0.37	▲ 0.19	▲ 0.32	▲ 0.78	0.37	0.64
80～84歳	2.49	1.43	1.32	0.93	0.78	0.37	▲ 0.25	▲ 0.27	▲ 0.79	0.36
85～89歳	4.54	2.56	1.38	1.32	0.95	0.80	0.38	▲ 0.39	▲ 0.12	▲ 0.83
90歳～	3.71	4.21	3.21	2.01	1.58	1.25	1.05	0.73	0.08	0.02
総数	0.91	0.78	0.71	0.68	0.68	0.70	0.70	0.72	0.79	0.84

資料：総務省「住民基本台帳年齢階級別人口（市区町村別）」平成27年・令和2年

図表4-5 乖離と要因の考察

現象	要因の考察（2015～20の5年間）
20～29歳の人口上振れ	推計より転出超過が少なかった。純移動率が社人研仮定値より＋へ改善。
80歳以上の人口上振れ	推計より死亡が少なかった。生残率が社人研仮定値より＋へ改善。
0～4歳の人口下振れ	推計より出生が少なかった。合計特殊出生率が社人研仮定値より－方向へ低下。

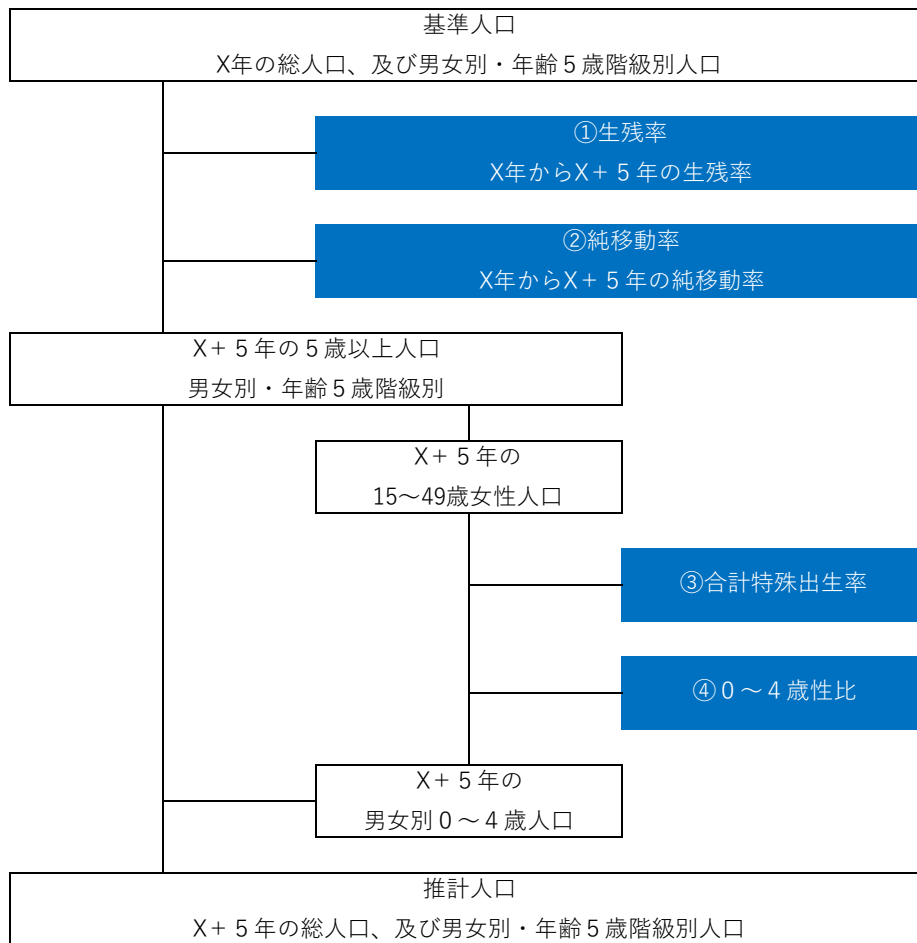
- 乖離の背景には、20～29歳人口が推計より多い（推計より転出超過が少なかった＝純移動率に改善傾向が見られた）、80歳以上人口が推計より多い（長寿により推計より死亡が少なかった＝生残率に改善傾向が見られた）といった事象があるものと推測されます。
- もっとも、合計特殊出生率が低下したために0～4歳の人口が推計より少なくなっており、将来の高齢化への懸念は残されています。

2. 人口の推計

(1) ベース推計（現状のまま推移した場合）

- まず、現状のまま推移した場合の「ベース推計」を実施しました。推計にはコーホート要因法をもちい、5歳階級・5年刻みの推計を2070年まで実施しました。
- 基準人口は、2020年住民基本台帳人口としました。また、推計に用いる仮定値は、図表5-2の通り設定しました。

図表5-1 コーホート要因法の手順 ※丸数字は仮定値



図表5-2 ベース推計（現状のまま推移した場合）の仮定値

ベース推計	①生残率及び④0～4歳性比 ：社人研『日本の地域別将来推計人口』（平成30（2018）年推計_久喜市
	②純移動率：総務省「住民基本台帳人口」から、2015→20年実績を算出
	③合計特殊出生率：埼玉県「埼玉県の合計特殊出生率」から、2015→19年平均値を算出

(2) 将来人口シミュレーション

- 次に、ベース推計を基礎としながら、一定の出生率向上と転出抑制・転入促進が実現された場合を想定し「将来人口シミュレーション」を実施しました。
- ベース推計と同様に、推計にはコーホート要因法をもちい、2020年住民基本台帳人口を基準人口として、5歳階級・5年刻みの推計を2070年まで実施しました。
- また、シミュレーションに用いる仮定値等は、図表6の通り設定しました。

図表6 将来人口シミュレーションの仮定値等と考え方

仮定値等	推計パターンと考え方
基準人口	総務省「2020年住民基本台帳年齢階級別人口（市区町村別）」久喜市
仮定値① 生残率	社人研『日本の地域別将来推計人口』（平成30（2018）年推計_久喜市 ※全ての推計パターンに共通して採用。
仮定値② 純移動率	総務省「2020年住民基本台帳年齢階級別人口（市区町村別）」久喜市及び同2015年から、 <u>2015→20年の純移動率実績を算出・・・ア</u> <u>パターンA 現状維持</u> アの傾向が今後も続くものと想定。 <u>パターンB 転出抑制</u> アのうち、現状では転出超過となっている20～34歳に着目し、この転出超過が2040年に解消される（純移動率がゼロとなる）と想定。 <u>パターンC 転入促進</u> アのうち、現状では転入超過となっている0～19歳、及び35～49歳に着目し、この転入超過が2040年に10%伸びる（純移動率+10%となる）と想定。 <u>パターンD 転出抑制・転入促進</u> パターンBとパターンCの双方が、2040年に実現されると想定。
仮定値③ 合計特殊出生率	埼玉県「埼玉県の合計特殊出生率」久喜市から、 <u>2015→19年の5カ年実績値の平均値（1.12760）を算出・・・イ</u> <u>パターンA 現状維持</u> イの値が今後も続くものと想定。 <u>パターンB 堅実上昇</u> イの値が、2060年に1.80まで上昇するものと想定。 <u>パターンC 積極上昇</u> イの値が、2040年に1.80、2060年に2.07まで上昇するものと想定。 <u>パターンD 超積極上昇</u> イの値が、2040年に2.07まで上昇するものと想定。
仮定値④ 0～4歳性比	社人研『日本の地域別将来推計人口』（平成30（2018）年推計_久喜市 ※全ての推計パターンに共通して採用。

図表7 将来人口シミュレーション結果 (No.1はベース推計)

単位：人

No.	推計パターン		2020年 実績値	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	2065年	2070年
	出生	移動											
1	A 現状維持	A 現状維持	153,066	150,729	147,062	142,400	137,193	131,868	126,171	119,991	113,310	106,440	99,669
2	A 現状維持	B 転出抑制	153,066	150,890	147,510	143,241	138,513	133,926	128,901	123,376	117,342	111,089	104,891
3	A 現状維持	C 転入促進	153,066	150,747	147,113	142,496	137,346	132,086	126,453	120,334	113,710	106,892	100,168
4	A 現状維持	D 転出抑制・転入促進	153,066	150,908	147,561	143,338	138,668	134,150	129,194	123,738	117,769	111,579	105,439
5	B 堅実上昇	A 現状維持	153,066	150,992	147,830	143,883	139,583	135,348	130,898	126,106	120,972	115,831	110,975
6	B 堅実上昇	B 転出抑制	153,066	151,154	148,284	144,744	140,951	137,508	133,838	129,871	125,618	121,402	117,498
7	B 堅実上昇	C 転入促進	153,066	151,010	147,881	143,983	139,744	135,586	131,214	126,503	121,450	116,393	111,625
8	B 堅実上昇	D 転出抑制・転入促進	153,066	151,172	148,336	144,844	141,115	137,753	134,167	130,290	126,130	122,012	118,213
9	C 積極上昇	A 現状維持	153,066	151,202	148,443	145,070	141,503	138,171	134,622	130,748	126,591	122,513	118,670
10	C 積極上昇	B 転出抑制	153,066	151,365	148,902	145,946	142,909	140,414	137,722	134,787	131,667	128,716	126,056
11	C 積極上昇	C 転入促進	153,066	151,221	148,496	145,173	141,672	138,426	134,967	131,187	127,129	123,156	119,424
12	C 積極上昇	D 転出抑制・転入促進	153,066	151,383	148,955	146,050	143,081	140,675	138,080	135,250	132,242	129,414	126,886
13	D 超積極上昇	A 現状維持	153,066	151,393	148,998	146,142	143,244	140,752	137,906	134,621	130,982	127,346	123,997
14	D 超積極上昇	B 転出抑制	153,066	151,556	149,461	147,033	144,685	143,069	141,141	138,876	136,375	133,985	131,977
15	D 超積極上昇	C 転入促進	153,066	151,411	149,051	146,247	143,420	141,021	138,276	135,096	131,568	128,049	124,823
16	D 超積極上昇	D 転出抑制・転入促進	153,066	151,574	149,514	147,139	144,864	143,345	141,525	139,377	137,001	134,748	132,887

- 純移動率及び合計特殊出生率を変化させ、16通りのシミュレーションを実施しました。
- 2070年時点で最大の人口を維持できるケースはNo.16（出生：超積極上昇、移動：転出抑制・転入促進）であり、約13万3千人となります。もともと、現状を踏まえると2040年に合計特殊出生率2.07の実現は想定しにくいとも考えられます。
- No.6～8（出生：堅実上昇）の場合でも、2060年人口は12万1千～6千人となり、現行ビジョンの将来展望人口（2060年に国調べ一スで約11万人）を上回り、将来にわたり久喜市の人口を維持することは可能です。